

令和8年度第1回群馬県立農林大学校評価外部評価委員会 開催結果

事務局 農林大学校

- 1 日時 令和8年6月23日（火） 午後2時から3時
- 2 場所 群馬県立農林大学校2階 会議室
- 3 出席者数 委員6名、事務局7名
- 4 学校概要について
事務局から説明
- 5 農林大学校評価について
事務局から説明
- 6 委員長、副委員長選任
互選により、澁谷喜久委員を委員長に、齊田和則委員を副委員長に選任
- 7 説明事項
(1) 令和8年度群馬県立農林大学校評価に係る重点方針、評価項目について

<委員の主な意見>

「1 質の高い教育の実行」

- ・農林大学校もいろいろ改革しており、農業高校から農林大学校へリンクしやすく、高校でやったことをさらに専門的に学ぶことが分かりやすくなったと思う。
- ・「環境森林コース」で「環境」という言葉を付けているが、視野が広がって募集や教育にもつながっていくと考えている。
- ・寮の個室化の状況はどんな感じか確認したい。
- ・GAPについての取組は素晴らしいが、学生にGAPの意味をしっかりと教えてほしい。
- ・あいさつ運動で、「いつも見てるよ、見守っているよ」というメッセージを出していくことはとても大事で、継続して声を暖かくかけることは大事である。
- ・「整理・整頓・清潔・清掃・しつけ」の5Sの大切さを教育の一環としてお願いしたい。

「2 実績の上がる学生募集の実行」

- ・今の若い人たちはインスタグラムをよく見るので、学生募集も目指していくとよい。
- ・農業高校との連携で、大学でOB・OGと交流できれば、さらに高校生が農林大学校を選ぶことが増えるのではないかな。
- ・最新のスマート農業など、農林大学校で農業高校の生徒と一緒に受けられると、身近に感じる機会となり、募集につながると思う。

「3 実績の上がる進路指導の実施」

- ・農林大学校の主旨は農業者を増やすことだが、就職率100%で、ハードルの高い公務員や入りづらい大学への編入学も入れていると聞いているので、農林大学校へ行ったらこういうふうになれると何となくアピールしたら良いのではないかな。

「4 県民の期待に応えられる研修の実行」

- ・地主の後継者や非農家で条件の悪い土地でも農業をやってみたいと考える人も多いと思うので、農林大学校でもっと門戸を開いてもらい、講座に力を入れてもらえると助かると思う。
- ・高齢の農家がオペレーターを頼むと県外からになってしまうので、ドローン研修をやってもらえると有り難い。

- ・研修部と学部は車の両輪で、だいが研修の輪が大きくなってきているので運営が大変だと思うが、期待も大きいので頑張してほしい。

(2) その他
特になし

8 結論

- ・「令和8年度群馬県立農林大学校評価 評価システムシート」の評価項目等について、承認された。
- ・委員の意見を踏まえ対応を検討する。

◎資料

- ・次第、委員名簿、群馬県立農林大学校評価実施要領、令和8年度群馬県立農林大学校評価実施スケジュール、令和8年度群馬県立農林大学校評価システムシート等